

いーほん青年部

vol. 1

発行：東京都書店商業組合青年部

<http://seinenbu.tokyo-shoten.or.jp/>

文庫もすぐに絶版になってしまう昨今、良い本に残って欲しいという願いから新刊ではなく既刊のおすすめ本を紹介しつづけます。楽しんでいただけたら幸いです。ぜひ感想をお寄せください。

mail@tokyo-shoten.or.jp

新選組始末記
新選組三部作
子母沢寛 中公文庫



新撰組の人物描写がなんとと言ってもピカイチ！幕末京都の風情・体感が活字から浮かび上がる程の立体感。さすが新撰組研究の第一人者、子母沢の傑作3部作！登場人物の女性達がこれまたいい！時代小説でありこれぞ本格派恋愛純情小説である。この本を読んだらあなたはきっとこう言います。『そうだ！京都行こう！』

ビーブックス 平井

滑稽・人情・艶笑・怪談... 古典落語 100席
立川志の輔 PHP文庫



古典落語の易しいダイジェスト集。適当に開いたページ、ひとつで良いので読んでみてください。こんな粋で洒落た人たちがいたいになりたいです。

山陽堂書店 萬納

小説 渋沢栄一 (上下)
津本陽 幻冬舎文庫



新一万円札の肖像に採用される近代日本の実業界の礎を築いた渋沢栄一の

生い立ち、攘夷の士から徳川慶喜に仕えることになる運命、洋行、維新政府への登用、産業の育成、慈善事業の取り組みまでを描いた書。日本の近代化はこの人無しには語れない。一万円札になるのも納得の生涯をお楽しみ下さい。 大和書店 田中

豊臣秀長
ある補佐役の生涯
堺屋太一 PHP文庫



秀吉の周りは名だたる人物が沢山いるので秀長といわれてもパッと来ない。でもこの人の活躍無くして天下統一は無かった。そんな秀長を取り上げた数少ない本。もっと名が知れてもいいはずだけど...、でもそれが秀長なのでしょう。今、菅官房長官の愛読書で話題。

椿書房 田島

無人島に生きる十六人
須川邦彦 新潮文庫



これだけ規律正しく、完璧な無人島生活はみたこともない。しかも凄腕船長を筆頭に16人全員のリーダーシップ、行動、言動はビジネス書としても役立つ一冊。ウミガメの体にもびっくり！アオウミガメはうまい？アカウミガメはまずい？ときどきでてくるイラストもかわいい感動の実話です。 明昭館書店 田中

横道世之介
吉田修一 文春文庫



バブル後期に長崎から状況した大学生世之介の一年間。すっとぼけているのに、とにかく誠実でいい奴！世之介と出会えて、関わった人たちがただただ羨ましい。自分の人生に彼が寄り添ってくれていると思うと彼を失ってもずっと人に優しく生きていける。

八雲堂書店 遠藤

幕が上がる
平田オリザ 講談社文庫



高校演劇部へ学生時代に演劇をしていた教員が着任し全国大会を目指すことに。個性異なる部員を活かした劇を作り上げるため、苦悩するさおりと強豪校からの転入生中西さん。悩みを抱えつつ部活に励む高校生達の青春のきらめきをお楽しみ下さい。映画化作品。 大和書店 田中

さようなら、オレンジ
岩城ケイ ちくま文庫



主人公サリマはアフリカからの難民で、紛争を逃れオーストラリアに移住した。子どもたちを残して姿を消した夫に代わり、彼女は仕事を始める。もう一人の主人公「私」は夫の仕事の都合でオーストラリアにやってきた日本人。ふたりが自分というものを獲得してまで、それぞれの言葉で語られていく。第2回 山陽堂ブック倶楽部課題本。山陽堂書店 萬納

リカ
五十嵐貴久 幻冬舎文庫



女ストーリーの恐ろしさを描くしつかりとしたサスペンス小説、なのにまるでホラー映画の世界に迷い込んだ気分させられる一冊です。続編も冒頭わずか13ページで引き込まれます。まずはこれを読んでストーリー「リカ」に追われてください。そして読んだあなたも「もうやめてあげて！」とさげびたくなるはず！ 野上書店 野上

シャルロットの憂鬱
近藤史恵 光文社文庫



元警察犬ジャーマンシェパードのシャルロットと新米飼い主の若い夫婦との日常です。物言わぬ犬

の動作や表情から感情をくみとり接していく飼い主と犬とのつながり、それぞれのやさしさにいやされます。動物を可愛いがれる人は、皆心やさしいと思いました。 新橋書店 山辺

戸村飯店 青春100連発
瀬尾まいこ 文春文庫



青春の懐かしさと大阪が全面にでてるのがこの本の特徴。大阪の18、19歳の兄弟のあまりにありふれた青春の日常に少しものたりない感があるかもしれないが、兄弟がいる方は共感が非常に多い。今高校生でこれからの進路に迷っていたらこの本は何かの役に立つかもしれない。不思議と本にはそういう力があると思う。 明昭館書店 田中

海に見える理髪店
荻原浩 集英社文庫



父と息子 たとえどんな幼少期を過ごしたとしても血のつながりだけはやっぱり消せない。それが人間なのか。親子、家族の切なさ、そんな人間模様を時を通して描いた作品です。読み終えた後、なぜか爽やかな気分になる素敵な短編集です。 ビーブックス 平井

ほんまにオレはアホやろか
水木しげる 講談社文庫



水木しげるの自叙伝。落第・戦争・貧困など過酷な人生ながら水木しげるのマイペースっぷりで面白おかしく描かれている。「人は皆違う、それぞれの生き方をすればいい」を体現している生き方。気が落ち込みがちの人は元気になれるかも。 椿書房 田島

13階段
高野和明 講談社文庫



冤罪と死刑がこの本の大きなテーマ。複雑な人間関係がどんどんつながっていき思わず夢中に。読み進めていく過程でミステリー特有の登場人物全員が犯人に見えてくるあるあるも体験。緊迫の死刑執行の描写、それにともなう死刑囚の極限の精神状態に死刑ってなんなのだろうと考えてしまった。
明昭館書店 田中

ラバーソウル
井上夢人 講談社文庫



あまりにも醜い容姿から幼少のころより誰からも愛されなかった誠。そんな誠が会ってしまうある狂気に満ちた恋！ストーカー誠の恋とその周りで起こる殺人事件をリアルにグロテスクに描くサスペンスです。歪でも真っすぐな恋の行方は心震える展開に・・・あなたはここまで人を愛せますか？
野上書店 野上

星々の舟
村上由佳 文春文庫



兄妹の禁断の恋、不倫、いじめ、戦争犯罪、水島家6人の家族誰もがそれぞれの人に言えない暗い過去を胸にしまって生きている。人間という生物の複雑さ、孤独だけでも家族という同じ舟に乗っている。幸せとは呼べぬ幸せというのがあるのかもしれない。
八雲堂書店 遠藤

君に恋をするなんて、ありえないはずだった
筏田かつら 宝島文庫



地味な眼鏡の男子高校生とみんなが憧れる女子高生。生きる世

界が違うと思われる二人が出会い、心を通わせ、すれ違うストーリーは青春が溢れています。読み始めたら止まらない珠玉の物語、続編と併せてお読み下さい。50のおじさんでもおすすめです。(第4回ネット小説大賞受賞作)
大和書店 田中

風のベーコンサンド
高原カフェ日誌
柴田よしき 文春文庫



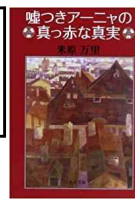
バブル後に寂れてしまった高原にカフェをオープンする為移り住んだ若い女性が、それぞれの季節に合わせてなじんでいきます。地元の食材をいかして頑張っているパン屋、牧場、農家の女性達に助けられながら料理を作り、地元を盛り上げ成長していく話です。メニューのレシピがのっているので、絶対つくりたくなること、請け合いです。
新橋書店 山辺

魔法のことば
星野道夫 文春文庫



アラスカの地に憧れ、アラスカに根ざした人生を生きた星野道夫の語った言葉の数々。いまここにいる自分からはずっと遠いどこかにも、人や動物の営みがあること。それを想像するだけでも、救われた気持ちになるとあります。
山陽堂書店 萬納

嘘つきアーニャの真っ赤な真実
米原万理 角川文庫



ロシア語通訳者を経て駄洒落と下ネタもいける名エッセイストとして知られるようになった作者は、プラハのソビエト学校で少女時代を過ごした。30年ぶりに再会した同級生3人から聞かされた、当時知りえなかったエピソードや彼女たちのその後の人生とは。
山陽堂書店 萬納

十二番目の天使
オグ・マンティーン
求龍堂文庫



大切な家族、妻と一人息子を事故で失ったひとり男。生きる気力をなくし自殺を考える男と、親友を通じリトルリーグの監督になりそこで出会う少年との心温まる物語。人が生きる意味・生きることの大切さを教えてくれる心温まる素敵な作品。いつの時代も初老と少年の物語はきれいに泣かせます！
ビーブックス 平井

大聖堂 (上中下)
ケン・フォレット
ソフトバンク文庫



世界中でベストセラーとなった傑作。中世の英国で大聖堂建設をめぐり、職人と聖職者、貴族たちの人生が交錯する波瀾万丈の物語。続編も描かれ、ドラマ化もされました。全3巻と大作ですが、是非、手にとってお読みください。続編も読ませます。
大和書店 田中

原発ホワイトアウト
若杉冽 講談社文庫



フィクションを語ったノンフィクションなのか、本当にフィクションなのか？限りなくグレーな作品です。この本には実際の内部告発を無理やりフィクションにした感じの箇所が沢山あり、読んでみて311が発生してから数年に起こった様々な出来事がストンと腑に落ちました。全国民必読の1冊です。
小川書店 小川

驕れる白人と闘うための日本近代史
松原久子 文春文庫



30年前にドイツで出版された邦訳版。今の歴史は欧米文明の恩恵により今がある。欧米

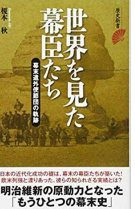
優越、中心的な考え方。そんな「驕れる白人」に対し史実を弁明した本。開国後、近代化を成し遂げたのは西洋の援助によるものだけでなく、鎖国時代からその地盤があったからこそである、など違った角度での歴史の見方を教えてくれる。
椿書房 田島

天災から日本史を読みなおす
磯田道史 中公新書



震源地に近い東北電力女川原発が安全に停止したのに対し、遙か彼方の福島原発が爆発事故を起こしたのは、まさにこの本が解説しているとおりの、経営陣が歴史を学び震災対策をしたか、歴史を無視したかの結果を示している。大船渡小学校の校長は過去の体験を活かし、生徒や迎えに来た父兄も含め、安全に避難させた経緯が紹介されており、南海トラフや首都圏大震災が迫る中、一読願いたい一冊だ。
甲文堂書店 越石

世界を見た幕臣たち 幕末遣外使節団の軌跡
榎本秋 洋泉社新書



エジプトのスフィンクス前で記念撮影をしているのは1864年にフランスへ派遣された文久遣外使節団。1867年には慶應遣欧使節団一行がパリ万国博覧会に招待されたが会場で見つけたのが英国のアレクサンダー・ペインが1840年頃に発明したファックスである。これを見た団員の一人がこれらは我々にも使えろと購入したと伝えられるが、そんなサムライ姿をした使節団が度々欧米に派遣された歴史を学ぶことができるのがこの本である。
甲文堂書店 越石